

## 学校評価報告書

## 1. 本園の教育目標

教育基本法の精神に則り、学校教育法に従い、カトリック精神に基づいて豊かな情操と円満な人格の完成を目指します。幼児一人ひとりの個性を尊重しよりよい環境を与えて、明朗・素直純真で心身共に健全な発達を助長し、良き社会人となる基礎を培うようにしています。

## 2. 2025年度、重点的に取り組んだ目標・計画

認定こども園幼稚園型への移行  
引き続き目の前の環境だけではなく、10年20年先を見越した環境を認定こども園に移行してこの1年間でしっかりまとめ考え整えていく。

## 3. 評価目標の達成及び取組状況

課 題	具体的な取り組み方法
教職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人的環境は、今までの職員数の増加だけでなく、一人一人の教職員の質の向上を考える。また、職員一人一人の存在や違いが大切にされ生かされる職場の実現。働いているものが、自分らしく納得して働いていると実感できる職場づくり。</li> <li>・ 職員の質の向上が、子どもたちへの環境向上へとつながっていくと考える。</li> </ul>
教育内容を深める	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもの実体験を増やす。</li> <li>・ 自然と触れ合うこと（花・緑・虫等）による心の育ちを大切にする。自然の中の神様を感じる。</li> <li>・ 支援の必要な子どもの増加、職員の配置、教職員研修による理解、臨床心理士によるキンダーカウンセリングの時間などを充実させる。子どもだけではなく、子どもを取り巻くすべての大人も含めた支援に取り組む。</li> <li>・ 園内研修の充実 研修担当をきめ確実にける環境と人員配置の確保をする。</li> </ul>
環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職場環境を整える。 職員室・職員ロッカー・休憩室設置</li> </ul>
保護者との連携 地域との連携 情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保護者会活動『みその会』の存在について、活動形態を一緒に模索する。アンケートの結果は、活動は縮小するが、『みその会』としての保護者活動は続けていく。 運営・活動の仕方などは、考えていく。</li> <li>・ 隣接の住吉教会との交流</li> <li>・ 幼少連絡会に参加し小学校との連携をとっていく。</li> <li>・ トライアルウィーク・ふれあい活動などを受け入れ地域の中学校と連携をとっていく</li> </ul>

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

前年度より、認定こども園幼稚園型として改めて変化の大きな1年でした。開園時間も延長し、対象年齢も下がり、1から勉強しなおす覚悟で臨みました。職員も、変化を受け入れて、課題を一緒に解決していく1年でした。変化の時はいろいろと問題・課題が見えてきます。一つ一つ丁寧に取り上げ、職員、関係者の方々の意見を聞きつつ一緒に解決へと取り組んでいきました。まだ、解決できず、引き続きの課題となっているものもありますが、一緒に話し合い解決していきましようとする取り組み姿勢が、今年のもっとも良かった点だと思います。昨年度からの目標である『子どもたちにも、保護者にも、職員にも魅力のある幼稚園』という目標にはまだ達成できていません。引き続き、目標として挙げていきたいです。最後に、保護者の皆様、教会の方々、近隣の皆様、子どもたちに関するすべての人々の協力のもと、本年度も無事終了することができました、感謝いたします。

#### 5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
教職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員増加により新しく入職してきた職員も増え、初心に帰り、再度共通理解を確認し合う</li> <li>・職員全員で意見の交換ができる精神的・時間的余裕を持つ。</li> <li>・いろいろな研修に参加し自己研鑽をつむ。</li> </ul>
教育内容を深める	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カトリック精神の理念を職員が共通理解をし、深めていく。</li> </ul>
環境設定・整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球環境の変化（猛暑等）に子どもたちが、柔軟に対応できる環境の整備。</li> <li>・実体験の活動を通して子どもの、情緒を豊かにする活動環境。</li> </ul>
保護者との連携 地域との連携 情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者との連絡ツールにICTなどを活用し、子どもたちの日々の成長の様子などの発信を行っていく</li> <li>・子育てサロン・園庭開放・ふたば組など地域に発信をし、未就園児への門戸を広げていく。</li> <li>・地域の子育て家庭世帯の安心基地となれるような幼稚園を目指す。</li> <li>・「誰でも通園制度」などに参加し、子育て中保護者に寄り添える幼稚園となる</li> </ul>

#### ● 2026年度、重点的に取り組む目標と計画

- 職員が主体的に学びを深めていける体制づくり
  - ・職員配置
  - ・職員が他園の保育を見る機会を作り自分の保育への振り返りと共に気づきを生かし成長していけるような機会を持つ
- 子供の成長や発見を保護者と一緒に喜びあえる園
- 児童発達支援の充実

● 2026年度の評価項目

非常勤職員を含む全教職員の資質向上・教育内容・環境整備の充実

6. 学校関係者の評価

保護者や地域からは、子供一人一人の気持ちを大切に、のびのびと過ごせるような保育が行われている点について評価する声が多く聞かれた。

又、認定こども園として新たにスタートした1年目ではあるが、安心して過ごせる環境づくりがなされているとの意見もあった。

一方で、移行初年度であることから、体制面での課題や、職員がよりゆとりをもって子供とかわれる環境好き売りを望む声も聞かれた。今後は体制の充実を図りながら、より良い保育の実現に努めていくことが求められる。